



SSH通信

第49号

令和7年9月30日 発行

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1

電話 03-3382-0601

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

サイエンスアカデミー キャンプ

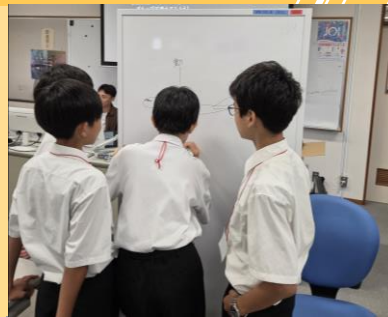
夏季休業日にサイエンスアカデミーキャンプを実施しました。また、SSH生徒研究発表会や中学生科学コンテストなどに参加して、多くの生徒が活躍しています。受賞する生徒も増えてきています。

サイエンスアカデミーキャンプ

「よく飛ぶ翼をデザインしよう」

講師 東京大学生産技術研究所 准教授 川越至桜先生

8月29日（金）と30日（土）の2日間、本校にてサイエンスアカデミーキャンプを実施しました。参加した生徒たちは、試行錯誤を繰り返し、よく飛ぶ翼について議論を重ねました。2日目の午後はグループごとに成果を発表し、川越先生から各班に講評をいただきました。参加した生徒からは「いつもの学校生活ではできないような高度な内容でとても面白かった。自分は航空力学というものをあまり知らなかったが、とても興味深くわかりやすかった。また今回は、航空力学以外にも社会とのつながりや探究のテーマ決めや結論の出し方なども学ぶことができた。これらの知識を今後の探究活動にも積極的に活かしていきたいと思った」「今まで科学技術と生活の関連について考えることはほとんどなく、科学も苦手だったが、講義を受け、科学技術と日常生活の関わりや、今私たちが学んでいる科学の内容と科学技術の関わりが深いことを知り、科学の面白さを感じることができた」といった感想がありました。この2日間の体験がこれからの課題研究等に生きることを期待しています。



揚力とは

スーパーサイエンスハイスクール

生徒研究発表会

Super Science High School Students Fair 2025



ポスター発表賞受賞！

SSH生徒研究発表会 8月6日（水）から2日間

8月6日（水）から7日（木）までの2日間、スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に参加しました。年に一度開催される全国規模の研究発表会です。会場となった神戸国際展示場は、多くの参加者の熱気と活気に包まれていました。本大会では、各部門の上位2校が全体会で口頭発表を行うことができます。本校科学探究部天文班は、それに次ぐ賞である「**ポスター発表賞**」を受賞し、地学部門で第3位という結果を収めました。さらなる上位入賞を目指していたため、悔しさもありますが、本大会で初めての受賞を果たすことができ、大変嬉しく思います。全体発表に選ばれた学校の発表は、内容も言葉選びも非常に練られており、どれも大きな拍手の起こるものばかりでした。

かがわ総文祭 2025 7月26日(土)から3日間

「文化部のインターハイ」とも呼ばれる全国高等学校総合文化祭に、東京都代表として本大会に出場しました。結果としては、残念ながら入賞には至りませんでした。半年以上にわたって入念な準備を重ね、今までで最も完成度の高い発表ができたと感じている様子でした。また、他県の生徒たちとの交流を通して、研究に励んできた者同士で苦労や努力を分かち合うことができ、大変有意義な経験となりました。



東京都の代表としての発表

日本地学教育学会 8月16日(土)から2日間

8月16日(土)から17日(日)までの2日間、北海道の釧路で行われた日本地学教育学会第79回全国大会(北海道大会)に科学探究部天文班の2名の生徒が参加し、「**審査委員特別賞**」を受賞しました。発表に向けて、事前に何十回も練習を重ね、本番ではスムーズで端的に要点を押さえた、分かりやすい発表ができました。発表後には、他校の生徒たちとも熱心な議論を交わすことができ、非常に有意義な時間となりました。



審査委員特別賞受賞！

日本地球惑星科学連合(JpGU) 2025年大会

5月末に開催された日本地球惑星科学連合(JpGU) 2025年大会の結果が発表され、「**優秀賞(第2位)**」を受賞することができました。幕張メッセで行われた国内最大級の本大会では、120を超える発表があり、その中からの受賞は大変光栄なことです。



優秀賞受賞！



この悔しさを来年に生かそう

中学生科学コンテスト 8月2日(土)

中学1学年から4チーム、中学2学年から2チームの計6チームが参加しました。実技競技Ⅰ「紙を落下させて遠くへ飛ばそう！」では、夏休み中に開かれた対策会の成果もあり、準備してきたことを存分に発揮することができました。当日発表の実技競技Ⅱや筆記競技では苦戦を強いられたようでしたが、チームで協力し、全力を出し切れた様子でした。

第3回理数セミナー 9月13日(土)

「探究の対象選定と進め方<データ分析を実学に>」
講師 作新学院大学・iU情報経営大学経営学部 客員教授 板橋英隆先生
本校OBでもある板橋英隆先生からデータ分析の手法について講演していただきました。また、経営者にとって必要不可欠である探究心と分析能力や探究の対象選定について、実例を用いながら分かりやすく説明していただきました。生徒たちはデータの扱い方や考え方、分析手法について学びを深めていました。生徒の感想には「富士未来学が難しくなるにつれて、探究やデータ分析について学びなおしたいと思い参加しました。講演を聞いて、データ分析をする上で気を付けるべきことや知っておくべきことなど、これから役立ちそうなことを多く聞けました」という声がありました。



対象選定で重要なこととは